

福祉のこれからを「上の人」に聞いてみた！

～「福祉の仕事は大変」と言われるのはなぜ？～

1

大谷大学 文学部 社会学科
社会福祉学コース 2 回生
山下佑真

皆さんに質問です。

「福祉」を色に例えると何色ですか？

今の社会では「**灰色**」に見られるように思えます。

原因として

- 1、人と関わる仕事は大変そう
- 2、働く環境が悪そう（**3K**）

法人名 リガーレ暮らしの架け橋

3

施設名

地域密着型総合ケアセンター きたおおじ



なぜここに？ねらいは？

知りたかったこと

I 特養、ショートステイの管理としては何を行っているのか
(小谷さん)

II 高齢者分野以外にも事業を広げたいと考えているのはなぜか
(杉原さん)

III 今の福祉に足りないことは何か (小谷さん、杉原さん)

現場で働く人よりも、全体をまとめたり、管理する職業の人が
考えていること

小谷さんへの質問の回答

I 特養、ショートステイの管理としては何を行っているのか

<取材で見てきたこと>

介護と看護のパイプ役

ケアカンファレンスでのスーパーバイザー的視点

ミーティング、会議が多め

ショートステイの空き状況の確認や介護タクシーとの連絡

「職員と利用者」だけでなく、

「職員と職員」の関係や環境の構築を行っていた！

杉原さんへの質問の回答

Ⅱ 高齢者分野以外にも事業を広げたいと考えているのはなぜか？

地域を包括するためには高齢者だけでは足りない！

高齢者分野以外にも行なっていきたい。

地域住民には児童や障がい、母子のようにさまざまな人がいる。

地域とのつながりの多い、祭りや行事ごとの参加で
季節感を感じながら過ごしてもらおう

7

小谷さん、杉原さんへの質問と回答

Ⅲ今の福祉に足りないことは何か

小谷さんと杉原さん

「福祉に対する理解が足りない！！」

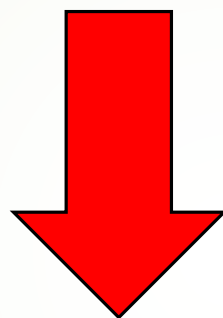
介護福祉の高校に入学したとき

「福祉って大変やな」と、言われることに疑問を感じていた。

対人援助を特別視している社会になっている

今回の取材を終えて①

介護技術は誰でも習得ができる（食事介助、移乗、入浴）



でも！

それこそが専門職のあるべき姿なのではないか

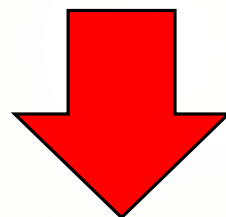
その介助を行なう意味や、
声掛けといった精神的安定を理解して行なうことができる

今回の取材を終えて②

看護も介護も支えあわなければいけない。

生命の質と生活の質のQOLの考え方の違いで食い違いが発生する

例えば終末期



そんな時には！

「専門性を捨てる」

まず、利用者さんの立場になって、
その人にとって何が一番いいのかを考えることが大切

一番知りたかったこと

「今の福祉に足りないことは理解」

人と話すことが苦手な社会

3 Kからくる勤務環境の悪さ

福祉を特別視しない社会を作っていくことが、誰もが地域でその人らしい生活が送れることにつながっていく

最後に

多様性を認められる社会を作っていかなければいけない

福祉は「**灰色**」・・・でも、それでもいいじゃないか！

色鉛筆やクレヨンに必要なのない色なんてない！

まだまだ言い足りないので、この後の座談会でお話しましょう。